

地域・離島歯科医療実習 レポート

学籍番号：4313100303

氏名：佐井 新一

実習先：黒島

実習期間：平成30年4月20日～4月22日

1. 自然環境

多彩な動植物と豊かな漁場を育む緑深い森の島である。村で最大のこの島には大里、片泊という二つの集落がある。竹島や硫黄島に比べて島全体には森林が多く、動植物も豊富で、様々な渡り鳥や昆虫など、多彩な自然の姿が見られる島である。森林から湧き出る清水は海岸の断崖で滝となり、白滝の美観を見せている。離れ瀬の多い島周辺には、絶好のフィッシングポイントが散在し、とくに塩手鼻、赤鼻などはイシダイのメッカと言われており、島内外から釣りマニアが訪れている。緑豊かな自然環境の中、椎茸栽培や大名竹などの収穫に恵まれ、特産品として出荷されている。また広大な土地を生かして牛の放牧も盛んで、足腰の強いみしま牛の育成に力が注がれている。海岸線の奇岩や断崖など景勝の地で、日没時の美しいサンセットラインは圧巻である。

2. 社会的背景

三島村（竹島、硫黄島、黒島からなる集合村）で2010年の国勢調査では人口は418人である。これは全国の1728市町村の中で、1723位、鹿児島県では43位にあり、最も小さな自治体である。2015年5月の推計人口では372人と減少傾向が続いており、今後もこの傾向は続くと考えられており、2040年には296人まで落ち込むと推計され、この人口減少は村政においては最も重要な課題とされている。実際に自分たちが黒島の離島診療に参加して感じたことは、本当に人口が少ない島だということである。

周囲15.2km、面積15.3キロ平方メートル、500m級の山々がそびえ、断崖絶壁の海岸線には、無数の滝が見られる森林と村に覆われた自然豊かな畜産の盛んな島である。

東西には大里と片泊の二つの集落があり、村の人口の約半数が居住する。昔から雑木林の宝庫で木炭の産地として栄えることもあった。また、豊富な椎の木を使った文字通り椎茸の栽培が行なわれて盛んであった。最近では遊歩道が整備され、手つかずの自然を楽しむトレッキングツアーやトレイルランが好評を得ている。

3. 住民の生活

きらりと光るアイランド みしま の創生から。

基本目標として、

① 個性ある3つの島へ新たな人の流れをつくる。

自然、歴史、文化資源を生かした交流促進があり、その中には実際に自分が目にした漁業もあった。ほかにも島が学びの場となるアイランドキャンパスづくりも含まれている。

② 地域資源を生かした仕事をつくり、安定した雇用をつくる。

農林漁業などの基盤産業の強化と人材育成、確保をしたり、固有の地域資源を生かした小さなビジネスの創出や次世代につながる新産業の創出を考えている。実際に自分が目にしたものは肉牛（家畜）産

業もあった。

③ 若い世代の移住、結婚、出産、子育ての希望をかなえる。

出産に関する支援の充実、子育て支援の充実、若者の機会交流を創出させることなど住民の生活をより活気あるものにするために様々な工夫がなされている。

4. 医療供給体制

黒島に在住している医師、歯科医師はいないと聞いたので、医療供給体制としては、今回の離島診療の形で3、4か月に一度鹿児島大学と歯科医師会から、歯科医師2名と歯科衛生士2名を派遣して、学校検診や齲蝕に対するコンポジットレジン充填、シーラント処置、歯石除去、骨髄炎の治療などポータブルユニットを用いてできる治療を行っている。

実習概要

日付	内容
4/20	学校検診→小学生、中学生約15名の口腔衛生状態の検査 歯科治療→多数齲蝕の治療、コンポジットレジン充填、シーラント処置、フッ化物塗布、歯石除去
4/21	歯科治療→多数齲蝕の治療、コンポジットレジン充填、歯石除去など

振り返り記録

今回の離島診療を通して、黒島のように医師、歯科医師が在住していない離島においてはどれほど離島診療が大事なことが実感できた。しかし、学校検診でみた小学生、中学生の口腔衛生状態はそれほど良いとはいえないし、中には本当に悪かった人もいた。そのため、今回のように歯科医師が見つかった齲蝕の治療をしたり、歯科衛生士が歯石除去をするのももちろん大切だとは感じたが、まずはその齲蝕、歯石が発生しないように自身で良好な口腔衛生状態を保てるようにしないといけないと思った。

今回の二日間の実習では、自分たちが目にしなかつただけかもしれないが、実際に離島診療に来てくれた方々に、歯科治療とは別にブラッシングやフロッシングを基本から教えてあげれば、もっと島の方々はご自身で口腔衛生状態を良好にできると強く感じた。

また、自分が参加した二日間、歯科治療に来られた方はとても少なかったのもっと離島診療について島の方にあらかじめ伝えてあげないと、とてももったいないと感じました。

診療の合間には先生と黒島の山を登ったりして、普段の生活では触れる機会があまりない自然を感じることができた。離島ならではの時間の流れ方も感じることで、とても貴重な経験ができた。また機会があれば、離島診療に参加したいと考えている。